

同一の敷地等を複数の学校が利用している場合のブロック塀等について（参考）

◆同一の敷地等を複数の学校で利用している場合、ブロック塀等の位置関係や構内の利用実態に応じて、いずれかの学校に計上すること。

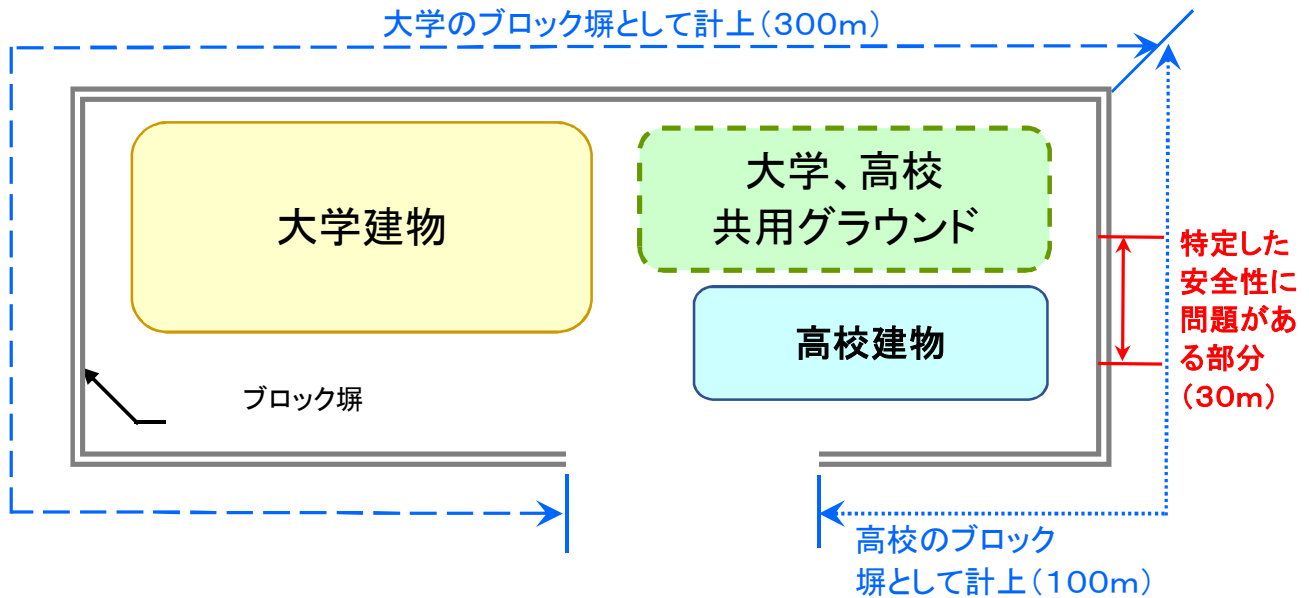
パターン①

【大学】

ブロック塀等の全長 : 300m  
 安全性に問題があるブロック塀等の全長 : 0m

【高校】

ブロック塀等の全長 : 100m  
 安全性に問題があるブロック塀等の全長 : 30m



パターン②

※大学敷地と高校敷地の境界である共通部分（90m）は、大学、高校それぞれの学生定員で按分して算出する。

【大学定員】 2,000人 【高校定員】 1,000人

【大学】

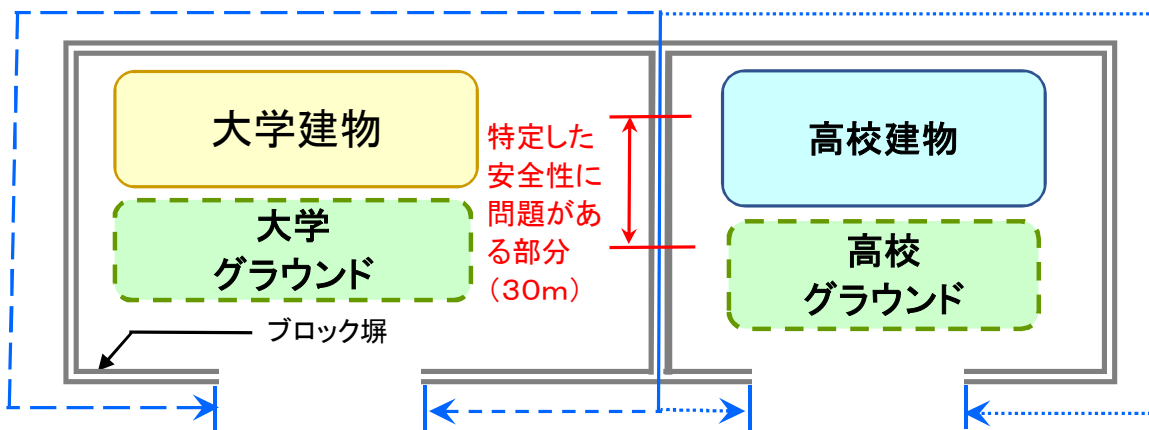
ブロック塀等の全長 : 330m  
 $270m + 90m \times 2,000人 \div 3,000人 = 330m$

【高校】

ブロック塀等の全長 : 270m  
 $240m + 90m \times 1,000人 \div 3,000人 = 270m$

安全性に問題があるブロック塀等の全長 : 20m  
 $30m \times 2,000人 \div 3,000人 = 20m$

安全性に問題があるブロック塀等の全長 : 10m  
 $30m \times 1,000人 \div 3,000人 = 10m$



--- 大学部分(270m)      ..... 高校部分(240m)      ——— 共通部分(90m)

### パターン③

※大学と高校で建物を共有している場合は、大学、高校のそれぞれの学生定員で按分して算出する。

【大学定員】2,000人 【高校定員】1,000人

#### 【大学】

ブロック塀等の全長：400m  
 $600\text{m} \times 2,000\text{人} \div 3,000\text{人} = 400\text{m}$

#### 【高校】

ブロック塀等の全長：200m  
 $600\text{m} \times 1,000\text{人} \div 3,000\text{人} = 200\text{m}$

安全性に問題があるブロック塀等の全長：20m  
 $30\text{m} \times 2,000\text{人} \div 3,000\text{人} = 20\text{m}$

安全性に問題があるブロック塀等の全長：10m  
 $30\text{m} \times 1,000\text{人} \div 3,000\text{人} = 10\text{m}$

### ブロック塀の全長(600m)

